

情報公開文書

研究課題名	長野県内における胃がんに対するニボルマブ治療の実態と臨床的意義
研究体制	■他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関： 信州大学医学部附属病院 )
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>医学科外科学消化器・移植・小児外科分野</u> 氏名 <u>副島 雄二</u> 当 院 所属 <u>消化器外科</u> 氏名 <u>中田 伸司</u>
研究期間	(西暦) 倫理委員会承認日 ～ 2021年 3月
研究の概要	(研究の意義・目的) 進行再発胃癌患者さんに対する免疫チェックポイント阻害薬の使用経験の集積を行うことは今後治療を受ける患者さんへ有益な情報を提供できると考えられます。  (研究方法) 過去の診療記録より下記の内容を収集し、最適な投与時期、合併症や治療効果の予測などについて検討します。
試料・情報	(試料・情報の項目) 性別、年齢、病理学的検査所見、血液生化学検査値、再発の有無(再発診断日)、生存の有無、治療成績(生存期間、投与期間、有害事象など)など
研究対象者	2017年1月1日から2020年1月31日の期間に当院にて胃癌で免疫チェックポイント阻害薬(ニボルマブ)の治療を受けられた方 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>消化器外科</u> 氏名 <u>中田 伸司</u>  TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439